

製品名: KLF15 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM80715**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	44kDa

抗原情報

遺伝子名	KLF15
別名	KKLF; DKFZp779M1320
遺伝子 ID	28999.0
SwissProt ID	Q9UIH9
免疫原	大腸菌で発現したヒト KLF15 の精製された組み換え断片。

背景

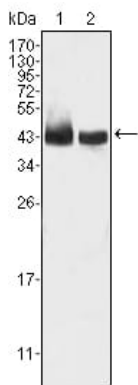
KLF15 (クルッペル様因子 15)、別名 KKLF、DKFZp779M1320。Entrez Protein NP_054798。配列解析により、ラット KLF15 タンパク質と 84%の同一性を示す 416 アミノ酸からなる KLF15 タンパク質は、C 末端に 3つのジンクフィンガーモチーフ、N 末端にセリ

ンリッチな領域、そして中央にプロリンリッチな領域を含むことが予測された。腎臓に多く存在するクルッペル様因子である KLF15 は、CLCNKA プロモーターに結合する転写活性化因子である。核タンパク質である KLF15 は、主に肝臓、心臓、骨格筋、腎臓組織で発現するが、リンパ組織や骨髄では検出されない。KLF15 は、脂肪組織と筋組織の両方において GLUT4 の重要な調節因子である。

研究分野

-

画像データ



HepG2 (1) および SMMC-7721 (2) 細胞溶解物に対する KLF15 マウス mAb を用いたウエスタンブロット解析。